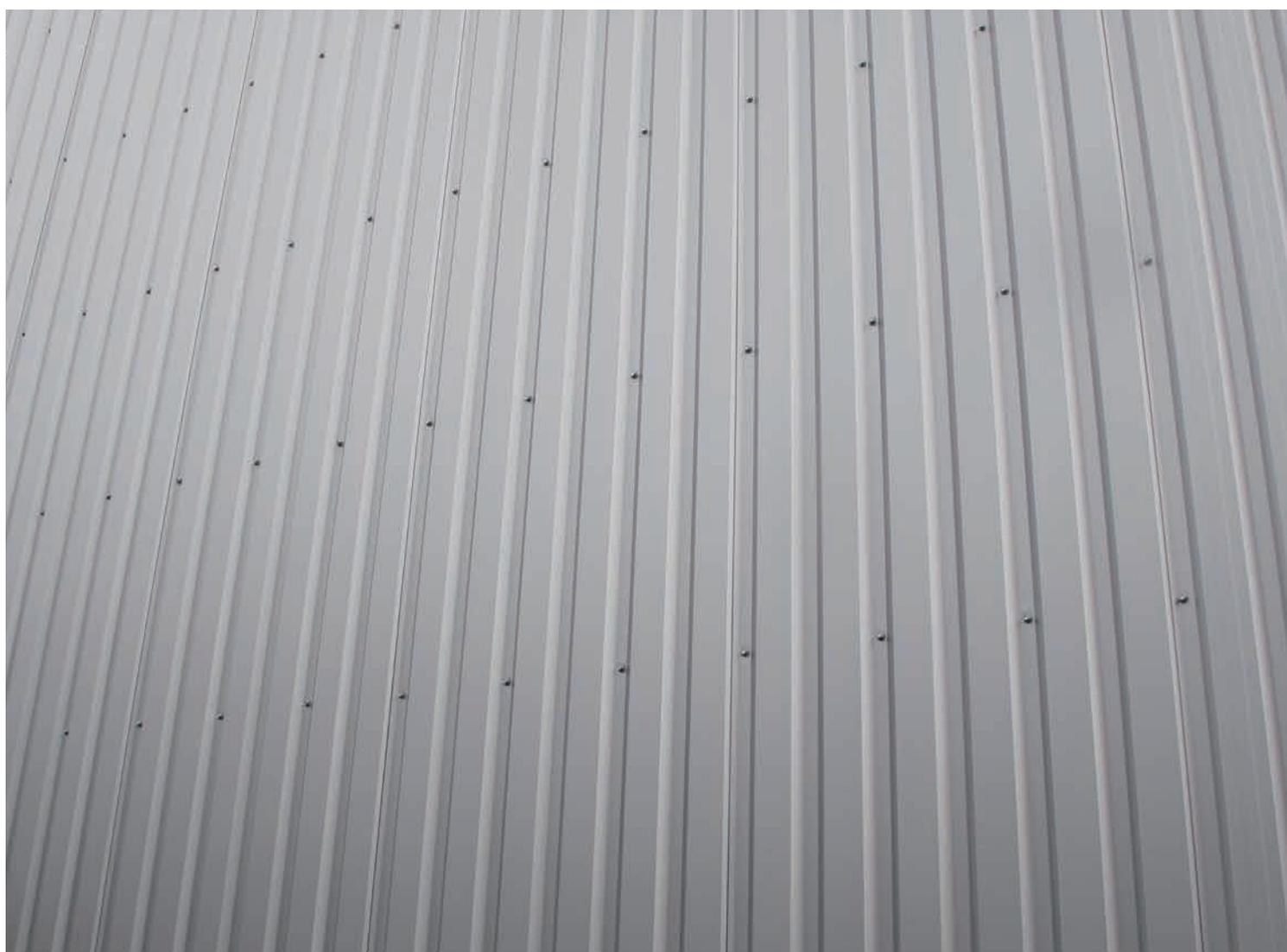


ニスクサイディング® F750

(2023年 1月版)

設計・施工マニュアル



目次	1. 施工の準備	
	1-1 安全作業の心得	2
	1-2 資材の搬入・養生・吊り上げ	2
	2. 製品仕様	
	2-1 特長	3
	2-2 本体断面形状	3
	2-3 標準仕様	3
	2-4 純正部材	3
	3. 設計資料	
	3-1 強度	4
	3-1-1 動風圧試験	4
	3-2 防水	4
	3-2-1 脈動圧試験	4
	3-3 防火	4
	3-3-1 壁防火構造認定	4
	4. 施工	
	4-1 工事の手順	5
	4-2 下地の確認	5
	4-3 本体の取り付け	6
	4-3-1 一般部	6
	4-3-2 縦継ぎ部(重ね仕様)	7
	4-4 参考納まり図	8
	4-4-1 土台水切	8
	4-4-2 出隅	8
	4-4-3 入隅	9
	4-4-4 建具廻り	9
	4-4-5 縦継ぎ部(水切仕様)	10
	4-4-6 縦継ぎ部(重ね仕様)	10

●お願い

この設計・施工マニュアルは、「ニスクサイディング® F750」の基本的な内容について説明しております。

特殊な条件で使用される場合には、弊社までご相談ください。

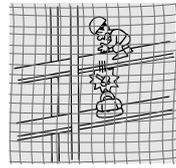
また、本品には弊社の工業所有権が登録されており、工業所有権の抵触に関わるような行為は控えてください。

「ニスクサイディング® F750」をご使用される場合には、部材を含めてこの設計・施工マニュアルに基づいて行ってください。

1. 施工の準備

1-1 安全作業の心得

■安全のために、よくわかっても再度チェックし、必ずお守り下さい。

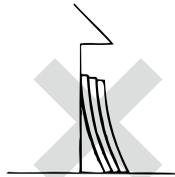
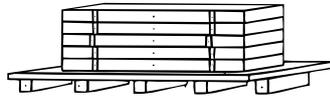
<p>警告 死亡または、重傷を負う可能性が想定されます</p>			
<p>①正しい着装</p> <p>外壁工事は高所作業です。作業時に支障のない身軽な作業服を着用し、保護具(ヘルメット、墜落制止用器具)を着装してください。</p>  <p>2m以上の高所作業では墜落制止用器具の着装が義務付けられています。</p>	<p>②異常気象時の判断</p> <p>突風、つむじ風等の異常気象の発生が予報されている時は、材料が飛散して2次災害を起こす危険がありますので、工事を中止して下さい。</p> 	<p>③上下同時作業の禁止</p> <p>落下災害が起こらぬよう、上下の同時作業は避けて下さい。</p> 	
<p>注意 損害を負うまたは、物的損害が発生する可能性が想定されます</p>			
<p>①毎日のミーティング</p> <p>作業規律の徹底と、健康状態のチェック、および安全についての注意事項を確認して下さい。</p> 	<p>②電動工具、一般工具の取扱い</p> <p>安全に使用するために、工具の点検や水ぬれの際の漏電に注意して下さい。</p> 	<p>③整理、整頓、標識の重視</p> <p>整理、整頓、標識を重視し、公衆災害の防止措置に心がけて下さい。</p> 	<p>④気象情報の重視</p> <p>降雨、降雪、強風などの気象変化に対する情報にご注意下さい。</p> 

※現場の実情に合わせて適切な安全作業の心得を作成し、実行して下さい。

1-2 資材の搬入・養生・吊り上げ

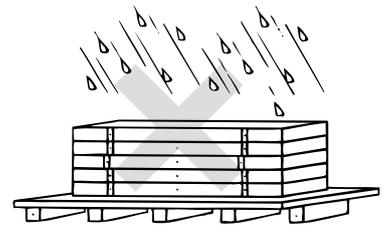
■搬入

- 荷置きには、決定したスペースに不陸のないよう整地してください。
- 台木(枕木)を適当な間隔で下に置き、その上に平板を置いてぐらつかないように仮止めしてください。
- 荷降ろし作業は、投げ渡しや、不用意に落さないように注意してください。
- 積み降ろしで、端部が地面に突き当たらぬように注意してください。
- 仮置き資材はタテ置きしないでください。
- 資材は寸法、数量、外観等正確にチェックしてください。



■養生

- すぐ荷揚げしない場合は、資材の内容をチェックし、防湿のできる保護シートをかぶせて、資材が飛散したり、崩れたりしないよう養生してください。



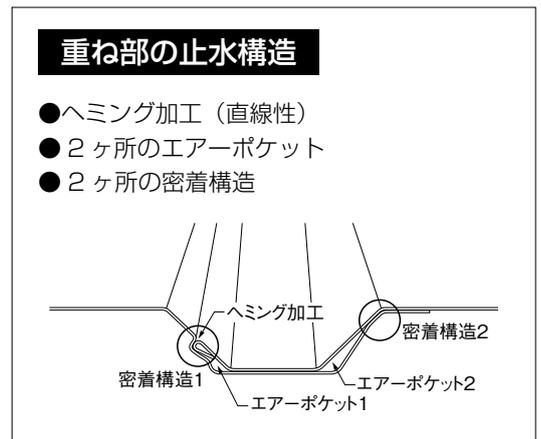
■吊り上げ

<p>警告 死亡または、重傷を負う可能性が想定されます</p> <p>●吊り上げ作業中は、クレーンアームの特定半径内に立ち入らないよう警告すること。</p>	
<p>注意 損害を負うまたは、物的損害が発生する可能性が想定されます</p> <p>●吊り上げ用具は規程のものを使用してください。</p> <p>●ナイロンスリングの幅は100mmを使用し、損傷がないか点検してください。</p> <p>●ナイロンスリングで3点以上にして吊り上げる場合、各ナイロンスリングの張力が均等になるよう、吊り点の位置やナイロンスリングの長さを調節して、成型品本体を絞ったり折れたり、ひずみが起こらないよう吊り上げてください。</p> <p>●吊り具を直接成型品本体に当たらないよう、吊上げ保護具(角当て)で養生してください。</p> <p>●成型品本体及び附属品の荷置きは、集中荷置きを避けてください。</p> <p>●成型品の荷ぐずれを起こさないよう、梱包や荷置き方法に配慮してください。</p>	

2. 製品仕様

2-1 特長

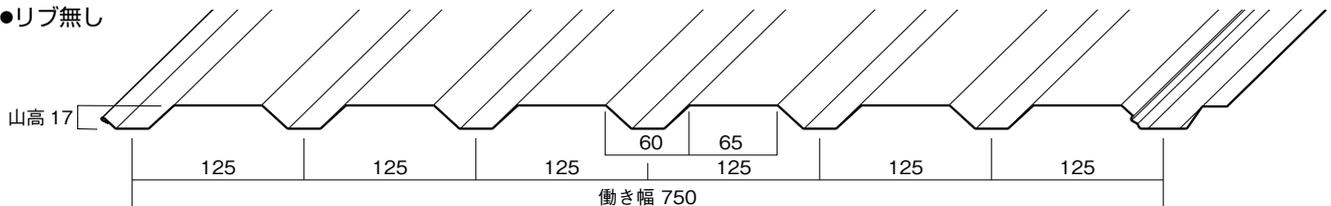
- 独自の重ね部形状(複数の止水構造)により、高水密を実現
- 突き付け施工により、重ね部の位置決めが容易
- ヘミング加工により鋼板エッジが出ない、スマートな意匠
- 縦継ぎはカット不要で4枚重ね可能
- 外壁30分防火認定(縦継ぎ部を含む)
(認定番号:PC030NE-0286-1)



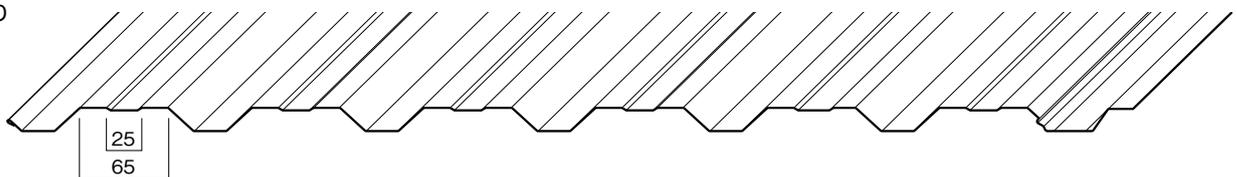
2-2 本体断面形状

単位 (mm)

- リブ無し



- リブ有り



2-3 標準仕様

板 厚	0.4・0.5mm
働 き 幅	750mm
使用原板幅	914mm
m ² 当り必要 m 数	1.33m

2-4 純正部材

ケミカル面戸 (内側用) NS-05	ケミカル面戸 (外側用) NS-06
<p>材質:発泡ポリエチレンフォーム 厚み:18mm 色:グレー ※本体1枚につき1個使用</p>	<p>材質:発泡ポリエチレンフォーム 厚み:18mm 色:グレー ※本体1枚につき1個使用</p>

3. 設計資料

3-1 強度（鋼板製外壁構法標準（SSW2011 に準拠））

3-1-1 動風圧試験

(1) 試験方法

動風圧試験装置により、正・負の圧力を等分布にかけ、強度を確認しました。

(2) 試験条件

- [試験体]
- 板 厚：0.4mm
 - 胴縁間隔：606mm、910mm
 - 外壁材固定ねじ：六角ねじ 5 φ（一谷おき）

(3) 試験結果

	正圧		負圧	
	910mm	606mm	910mm	606mm
胴縁間隔	910mm	606mm	910mm	606mm
許容強度	2500Pa	4900Pa	2500Pa	4900Pa

3-2 防水

3-2-1 脈動圧試験

(1) 試験方法

動風圧試験装置を使用し、試験体に下記の加圧サイクルに従って脈動圧を加えると同時に、屋外側へ散水を行い、屋内側への漏水状況を確認しました。

(2) 試験条件（JIS A 1414 建築用パネルの脈動圧試験方法に準拠）

- [試験体]
- 板 厚：0.4mm
 - 胴縁間隔：910mm
 - 外壁材固定ねじ：六角ねじ 5 φ（一谷おき）

- [散水条件]
- 脈動波形：近似正弦波
 - 脈動周期：2 秒
 - 水 量：4 ℓ /min・m²
 - 保持時間：各 10 分間

[加圧サイクル]

ステップ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
脈動圧	平均圧力(Pa)	50	100	150	250	350	500	550	750	1000	1250	1600
	上限圧力(Pa)	75	150	225	380	525	750	825	1125	1500	1875	2350
	下限圧力(Pa)	25	50	75	120	175	250	275	375	500	625	850

(3) 試験結果

平均圧力 1600Pa まで試験体の屋内側への漏水は観察されなかった。

3-3 防火

3-3-1 外壁 30 分防火認定（認定番号：PC030NE-0286-1）

概略図	胴縁間隔	ねじ固定間隔	防水紙	縦継ぎ部
<p>石膏ボード 9.5mm(内側)+12.5mm(外側)</p> <p>ニスク サイディングF750</p>	鉄骨造 910mm 以下	全谷もしくは 一谷おき	有・無 選択可能	<ul style="list-style-type: none"> •重ね仕様 (重ね100mm 以上) •水切り仕様

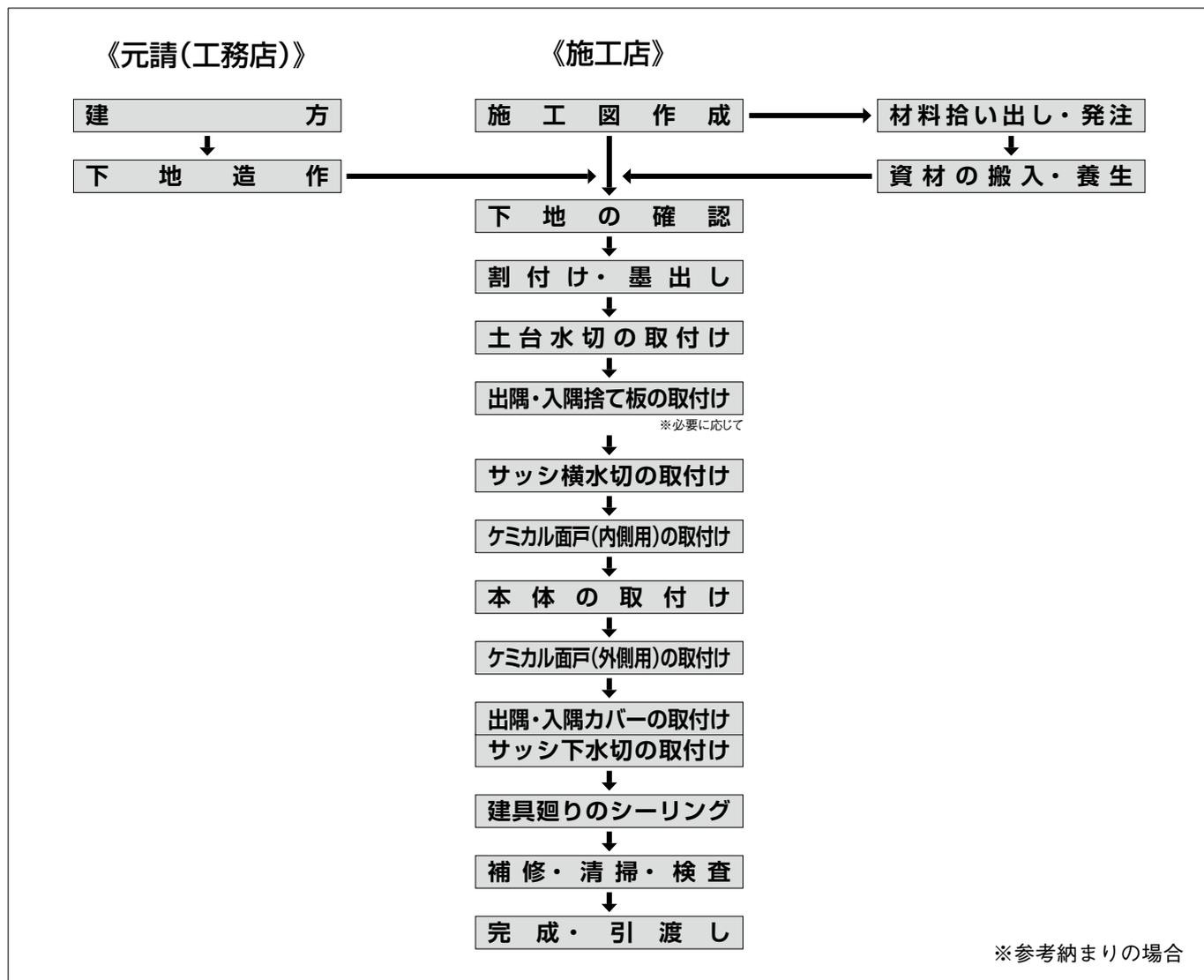
※詳細は弊社までお問い合わせください。

4. 施工

施工上の注意点

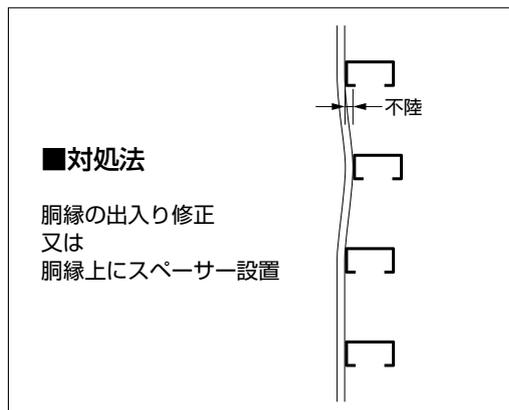
鋼板製品（本体、部材）を直接コンクリートやモルタルに接触させる様な取付けは避けてください。
早期腐食の直接的な原因となりますので、何らかの絶縁処置（プチルテープ等を挟む）を施した納まりと
してください。

4-1 工事の手順



4-2 下地の確認

柱、土台、胴縁など必ず下げ振りや水平器等により、垂直、水平を確認してください。
右図のように胴縁間に水糸を張って相互の出入りを確認します。
出入りが著しい場合には仕上がりを損なう事が考えられますので、事前に対処してください。



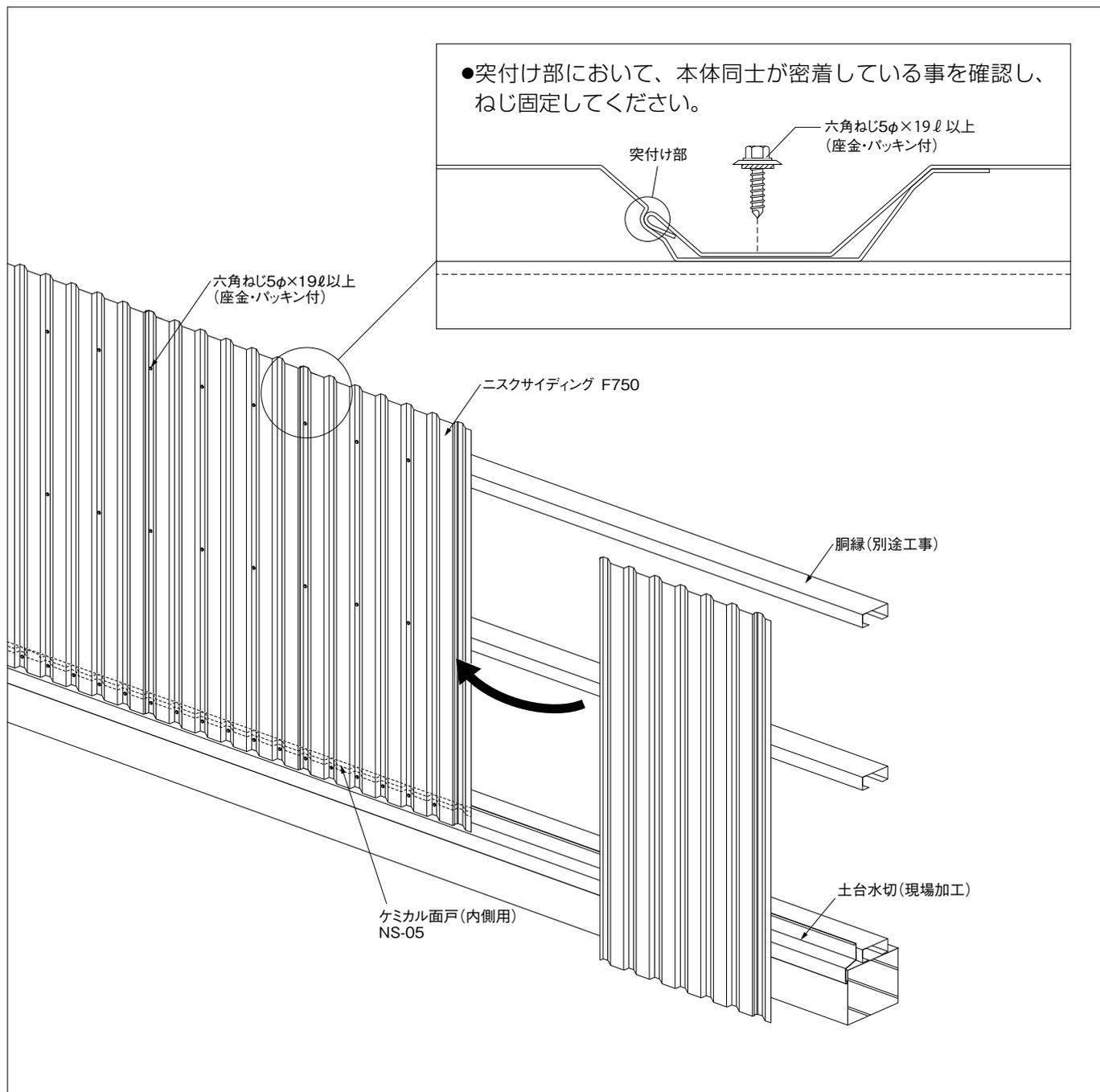
4-3 本体の取り付け

[ねじ固定間隔]

- 一般部 …… 一谷おき
- 土台水切部、水上部、縦継ぎ部、建具廻り部 …… 全谷（推奨）

4-3-1 一般部

基準墨を一定間隔で墨出しし、曲がりがないように本体を取付けてください。

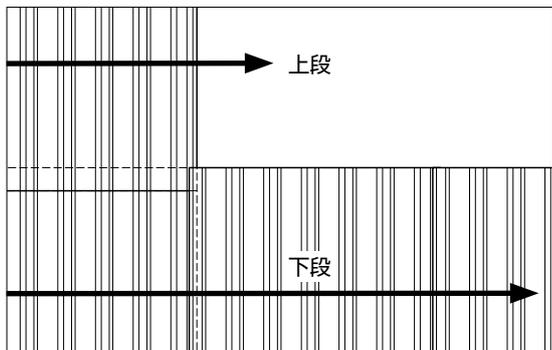


4-3-2 縦継ぎ部（重ね仕様）

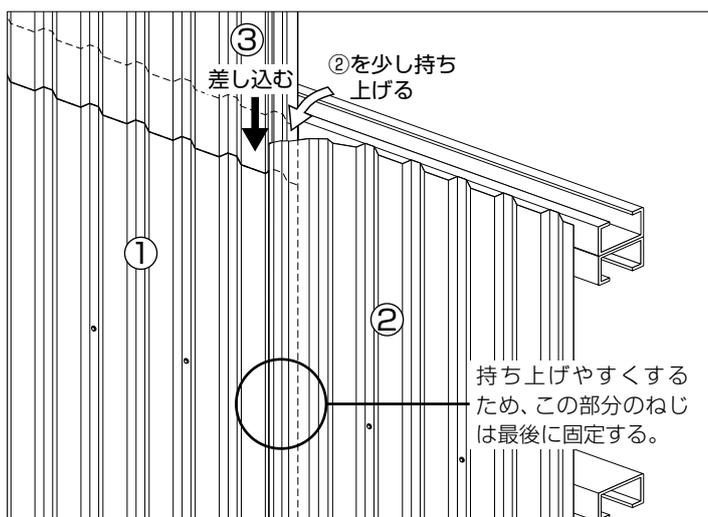
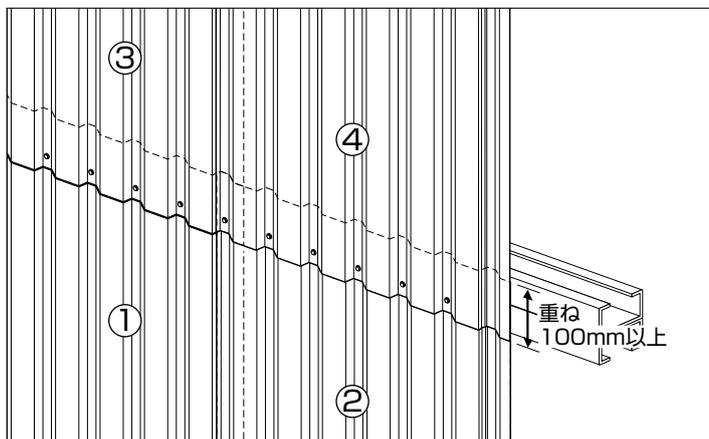
【重ね順序】

①→②→③→④の順に本体を重ね、取付けてください。

●本体取付パターンA

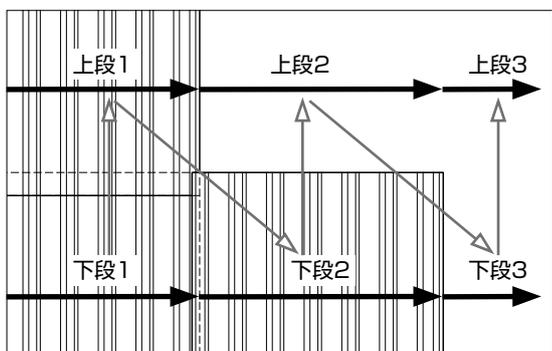


下段を横一列取付けた後、上段を取付ける。

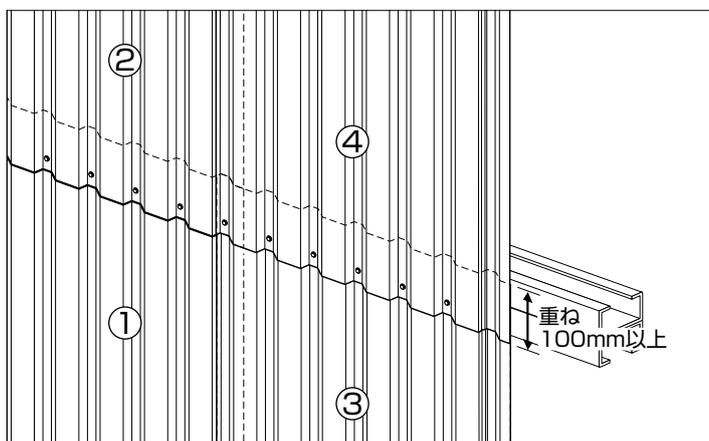


※本体③をそのまま取付けると本体①と重なりません。
右図のように、本体②を少し持ち上げ、本体③を差し込み取付けてください。

●本体取付パターンB



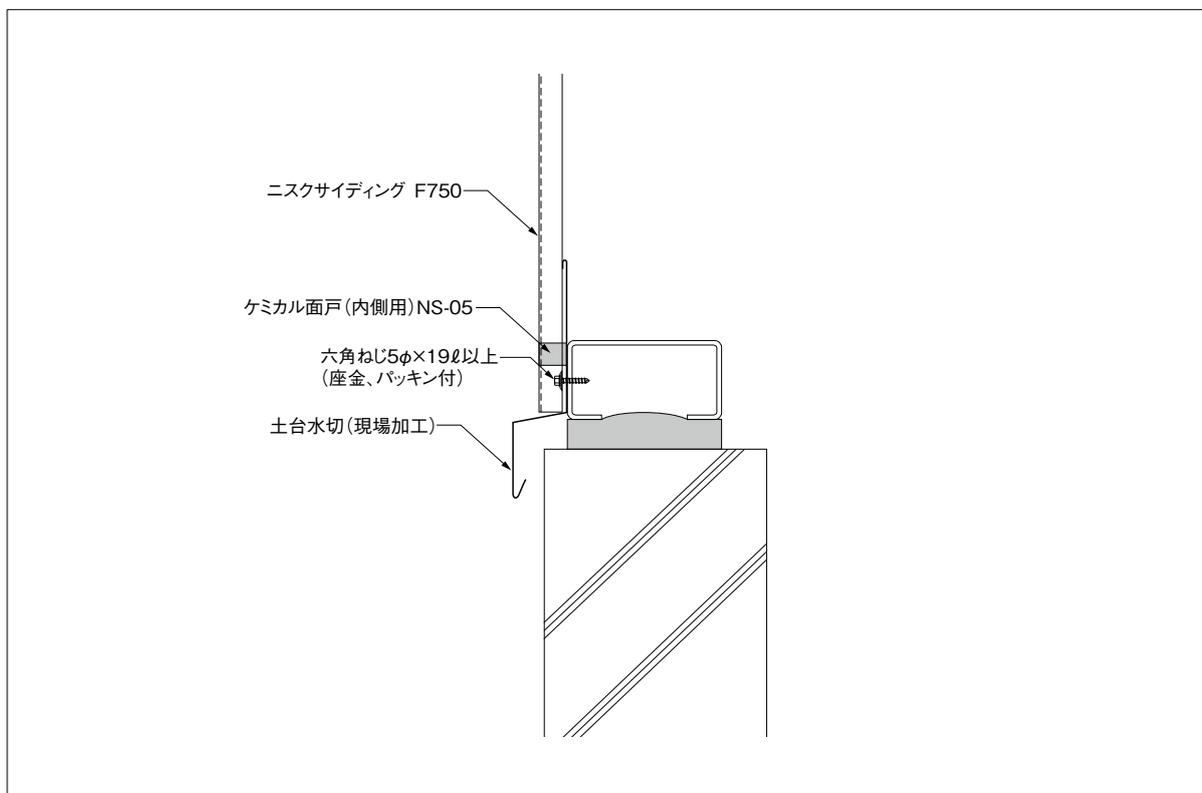
下段と上段を縦一列取付けた後、横の縦一列を取付ける。



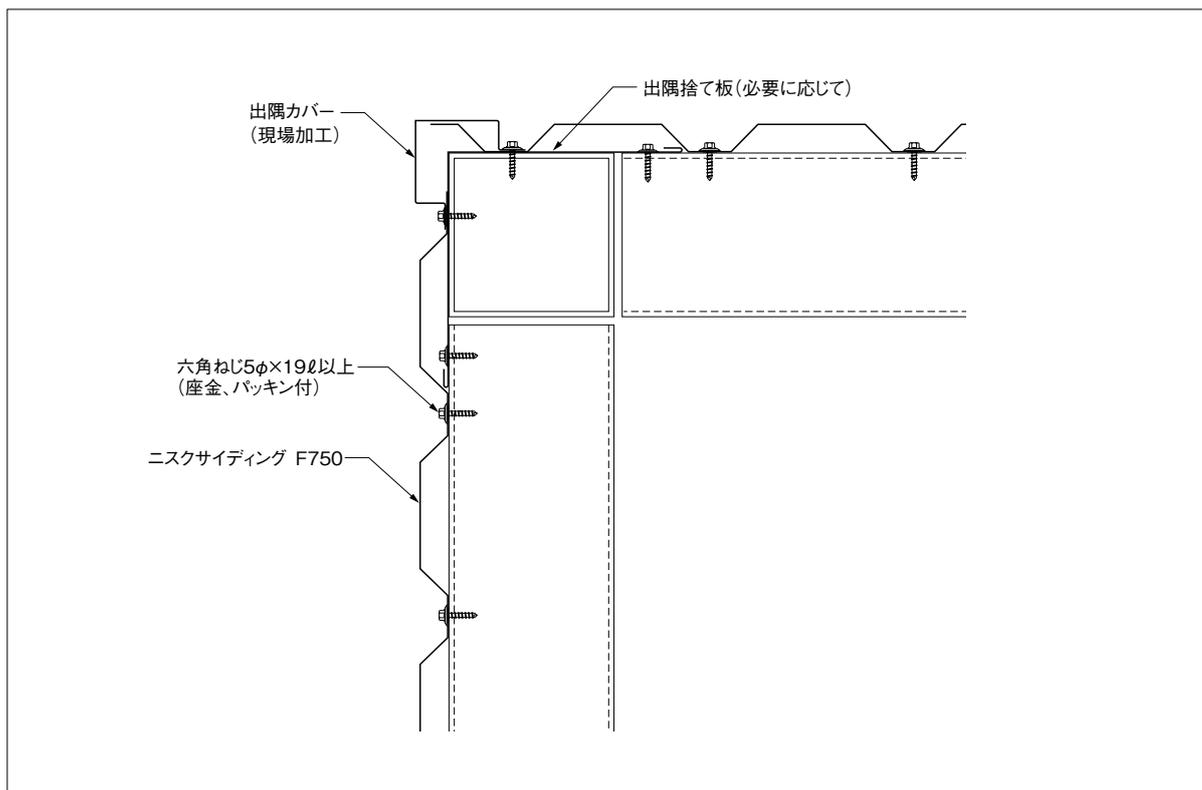
必要に応じ重ね内部にパッキン等をご使用ください。(A、B共通)

4-4 参考納まり図

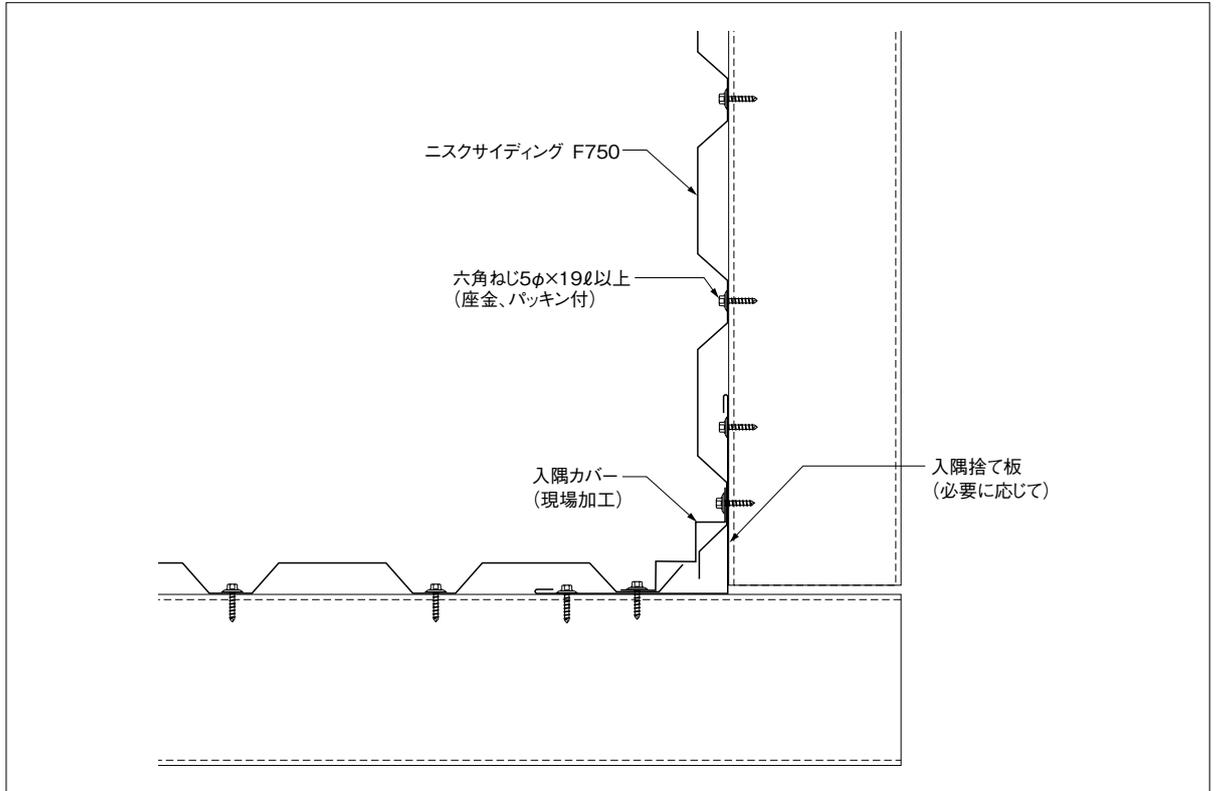
4-4-1 土台水切



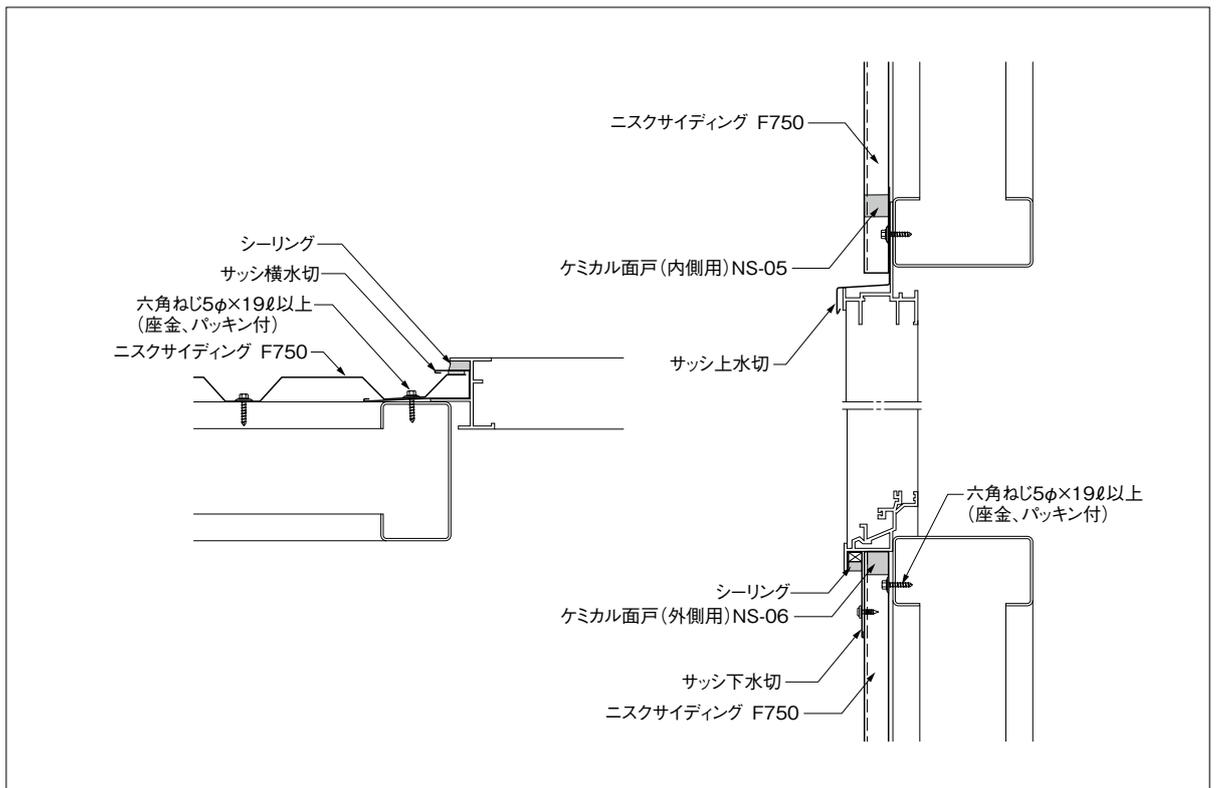
4-4-2 出隅



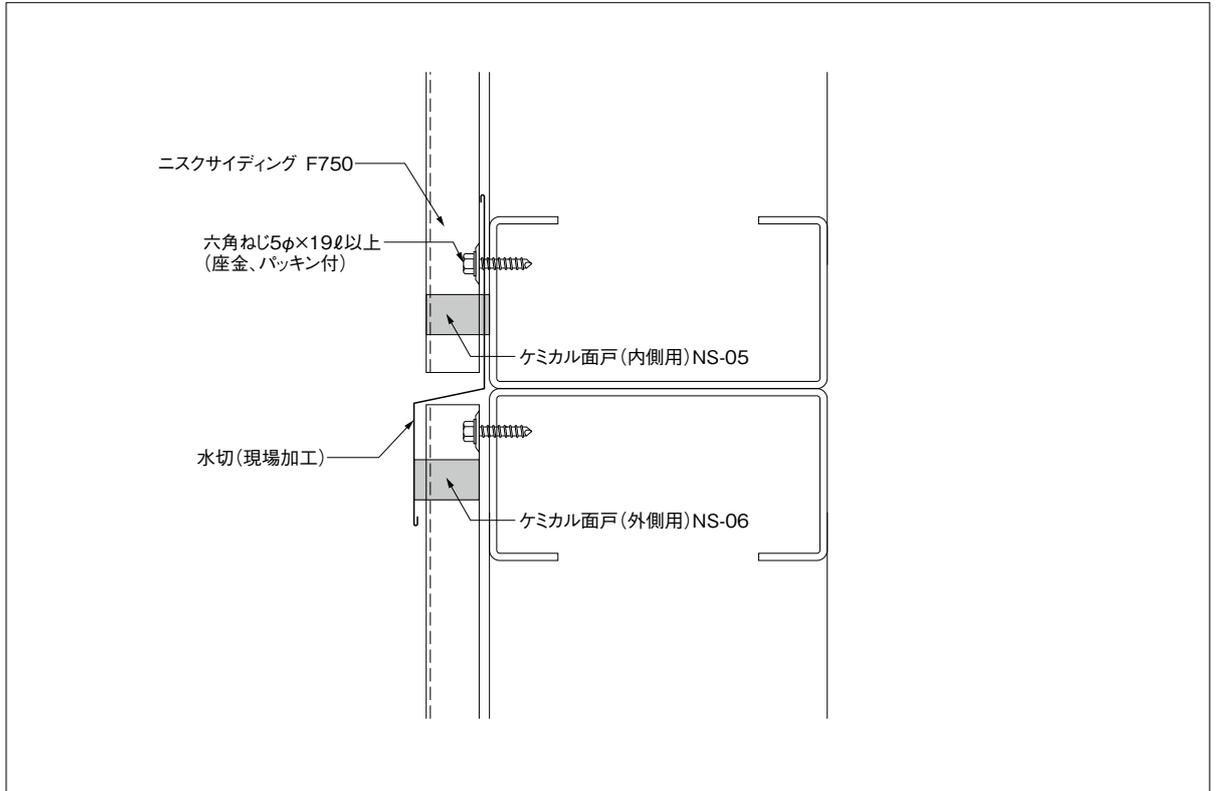
4-4-3 入隅



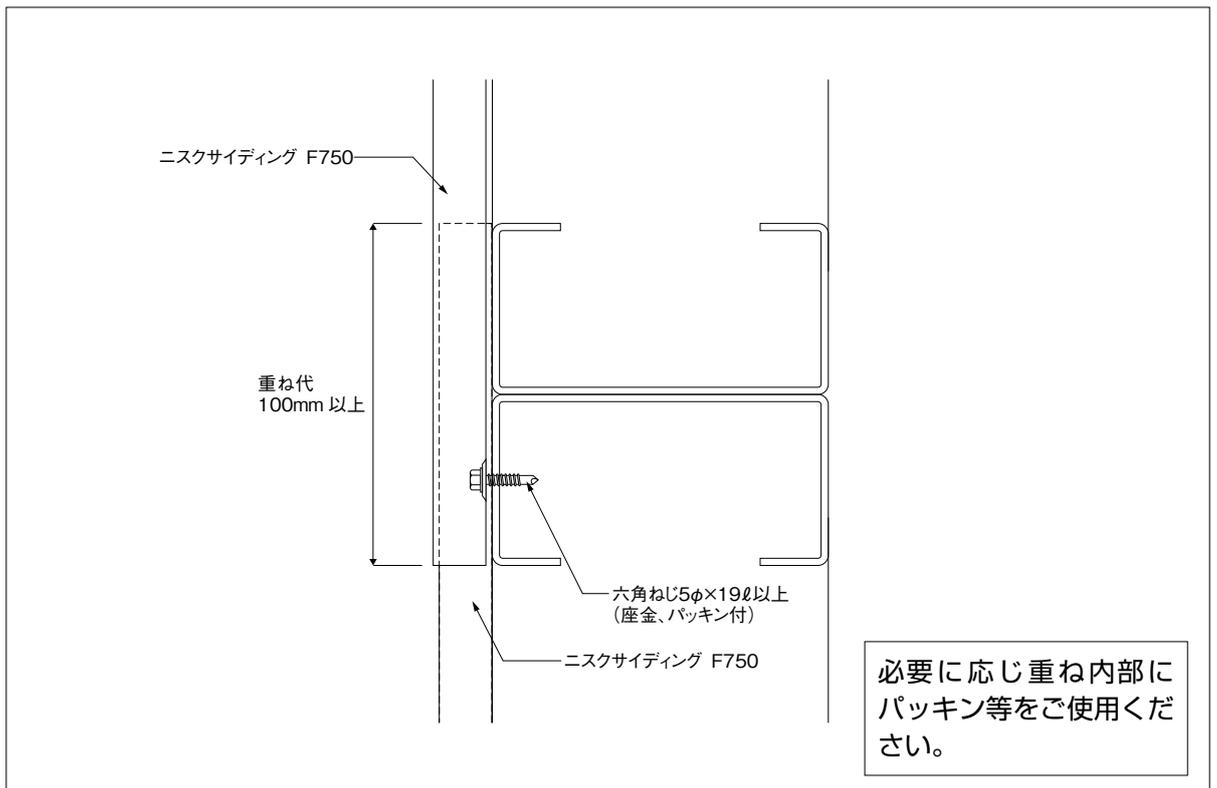
4-4-4 建具廻り



4-4-5 縦継ぎ部 (水切仕様)



4-4-6 縦継ぎ部 (重ね仕様)





日鉄鋼板株式会社

本社・鋼板営業第一部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル TEL 03-6848-3710(代) FAX 03-6848-3757
本社・パネル建材営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル TEL 03-6848-3820(代) FAX 03-6848-3838
東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル TEL 022-264-9861(代) FAX 022-264-9866
東京支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋一丁目5番6号 第10中央ビル TEL 03-6848-3837(代) FAX 03-6848-3838
名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18 NSビル TEL 052-564-7258(代) FAX 052-564-4759
大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル TEL 06-6228-8330(代) FAX 06-6228-8506
九州支店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル TEL 092-281-0051(代) FAX 092-281-0230
北陸営業所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通1-18 北日本桜橋ビル TEL 076-432-9898(代) FAX 076-442-2924
ホームページアドレス <http://www.niscs.nipponsteel.com/>

●お問い合わせは・・・

※記載された試験データは弊社で実施した試験データの一例であり、その結果を保証するものではありません。
※当技術資料に掲載されている仕様等は、予告なく変更することがあります。
※本資料に記載された製品または役務の名称は、当社の商標または登録商標です。
※本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。